

漆彩讚歌

shissaisanka

石本愛子漆芸展

2017.1.27 FRI-3.12 SUN

Press Release



公益財団法人 竹中大工道具館
TAKENAKA CARPENTRY TOOLS MUSEUM

竹中大工道具館 企画展

漆彩讃歌

－石本愛子漆芸展－

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび竹中大工道具館では、2017年1月27日（金）から3月12日（日）まで、企画展「漆彩讃歌－石本愛子漆芸展－」を開催いたします。

石本愛子氏は、長野・木曾平沢を拠点に活動する漆工芸作家です。石本氏は伝統の漆沈金技法をベースに、顔料をもちいて色彩豊かに表現する「伏漆彩沈金」という独自の手法を開拓し、漆工芸の新たな可能性に挑戦し続けています。

本展覧会では石本氏の作品約30点のほか、制作に使われる材料や道具などを展示し、石本氏の築きあげた伏漆彩沈金の世界と、漆にかける想いを解説します。

これまで知られてこなかった、伏漆彩沈金の技と表現を概観できるまたとない展覧会です。ぜひともご来場くださいますようご案内申し上げます。また、あわせて貴媒体にて記事としてお取り上げいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

なお、広報用写真をご用意しております。読者・視聴者プレゼントにつきましても写真借用申込書にてお申し込みを受け付けております。ご希望の場合は、別紙の写真借用申込書にてご請求ください。その他、ご不明な点や資料等のご要望、撮影などの取材を希望される場合は、下記の広報事務局までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

謹白

公益財団法人 竹中大工道具館

漆彩讃歌

—石本愛子漆芸展—

漆塗りの素地に文様を彫り金箔・金粉等を摺り込んで装飾する沈金（ちんきん）は漆工芸の伝統的な加飾技法のひとつです。漆芸家・石本愛子は沈金の伝統技術を生かして、色彩豊かな伏漆彩（ふしっさい）沈金技法という新しい手法を確立しました。

本展では、日本アルプスなどの情景を伏漆彩の技法によって表現したパネル作品やオブジェ、器などの作品を展示するほか、制作道具、工程を収録した映像を紹介します。

漆の秘める可能性を追求し続ける石本愛子の卓越した技をご堪能ください。



□ オブジェ「鼓響春棋」興禅寺蔵



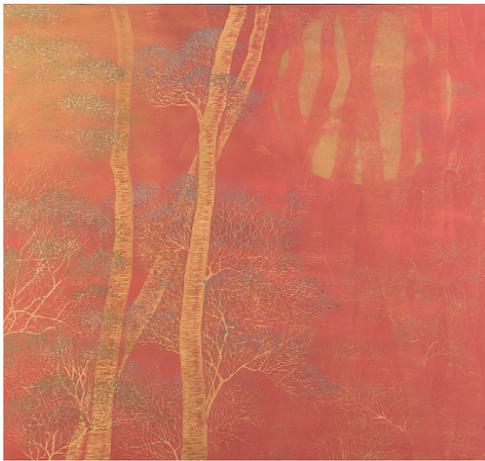
□ 石本愛子（漆芸家、伝統工芸士）
長野県生まれ。1972年、漆工界に入る。1977年「うるし工房 石本玉水」にて創作活動。1987年より漆芸グループ「Ai」主宰。各地で個展を行うとともに信州ものづくりマイスターとして講演・体験学習等漆の普及活動に取り組んでいる。現在、光風会会員、長野県展審査員、信州美術会評議員。塩尻市文化財審議委員、木曽高等漆芸学院講師を務める。

名 称	漆彩讃歌（しっさいさんか）—石本愛子漆芸展—
会 期	2017年1月27日（金）～3月12日（日）
会 場	竹中大工道具館（神戸市中央区熊内町7-5-1）
入 場 料	一般:500円、大・高生:300円、中学生以下無料、65歳以上の方:200円 ※団体(20名以上)割引、その他各種割引あり
主 催	竹中大工道具館
公 式 サ イ ト	http://www.dougukan.jp/special_exhibition/ishimoto

主な展示作品



㉓ 漆パネル「日々」



㉔ 漆パネル「木漏日」



㉕ 棗「花の図」



㉖ 沈金の道具



㉗ 二枚屏風「花無心」興禅寺蔵



㉘ 制作風景

関連イベントのご案内

◎石本愛子氏によるギャラリートーク

- ①2017年1月27日(金) 13:30～14:00
 ②2017年2月12日(日) 13:30～14:00

「石本愛子漆芸展」開催を記念し、石本氏自身に作品の見どころをはじめ、伏漆彩の制作技法についてお話しいたします。

講師： 石本愛子(漆芸家・伝統工芸士)
 場所： 竹中大工道具館 1F ホール
 定員： 各回15名(事前申込制・応募者多数の場合は抽選)
 参加費： 無料(別途要入館料)
 申込締切： ①2017年1月6日(金)、②2017年1月20日(金)

◎「技と心」セミナー 体験「漆沈金でつくる菓子皿」

- 2017年2月11日(土・祝) ①10:00～12:00(開場 9:30)
 ②14:00～16:00(開場13:30)

12.5×15cmの漆菓子皿の表面を沈金刀で彫り、模様を描き出す繊細な工程を体験します。

講師： 石本愛子(漆芸家・伝統工芸士)
 場所： 竹中大工道具館 B2F 木工室
 定員： 各回15名(事前申込制・応募者多数の場合は抽選)
 対象： 小学4年生以上(小学生の場合は保護者同伴)
 参加費： 4,000円(別途要入館料)
 申込締切： 2017年1月20日(金)



申込方法 ウェブメールまたは往復はがきハガキに下記事項をご記入の上お申し込みください。

ウェブメール 公式サイト(http://www.dougukan.jp/special_exhibition/ishimoto)内よりお申し込みください。

ハガキ [往信用裏面] ①イベント名(ご希望時間も) ②お名前(フリガナ) ③郵便番号・住所
 ④電話番号 ⑤年齢
 [返信用表面] 宛先にご自身の氏名、郵便番号、住所をご記入ください。裏面は未記入のこと。
 [お申し込み先] 〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 竹中大工道具館イベント係

※ハガキ1通につき1名様までお申し込みいただけます。※参加可否の詳細は締切日以降にご連絡いたします。
 ※ご記入いただいた情報は厳重に管理し、イベント以外の目的には使用いたしません。

プレス関連の問い合わせ

画像掲載については添付の申込書(FAX)または竹中大工道具館ウェブサイトよりお申し込みください。

「漆彩讃歌ー石本愛子漆芸展ー」展広報事務局 (竹中大工道具館内)

〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 TEL: 078-242-0216 FAX: 078-241-4713 e-mail: ishimoto@dougukan.jp

展示の内容は変更になることがあります。最新情報は下記ウェブサイトでご確認ください。

http://www.dougukan.jp/special_exhibition/ishimoto



FAX : 078-241-4713
竹中大工道具館 広報事務局行き

竹中大工道具館企画展

「漆彩讃歌 ー石本愛子漆芸展ー」

写真借用申込書

- ▶ 広報用に画像データ(JPEG)をご用意しております。ご希望の方は下記ご記入のうえFAXにてお申込みください。画像データをメールにて送信いたします。
- ▶ ご紹介いただける場合、読者プレゼント用として竹中大工道具館招待券ペア 5 組または本展図録 5 部を提供いたします。ご希望の際は下記の「希望する」をお困みください。
- ▶ その他、撮影などの取材をご希望される場合は別途事務局までご連絡ください。

掲載媒体名		
掲載予定日	月	日
媒体種別	新聞 / 雑誌 / テレビ / ラジオ / インターネット /	
	その他 ()	
画像送付先	貴社名	
	ご担当者名	
	E-mail	
	ご住所	
	電話・FAX	
希望画像名	プレスリリース内の写真をご参照のうえ、ご希望の画像の記号に☑をご記入ください。	
	<input type="checkbox"/> A: オブジェ「鼓響春棋」興禅寺蔵	<input type="checkbox"/> B: 石本愛子(漆芸家、伝統工芸士)
	<input type="checkbox"/> C: 漆パネル「日々」	<input type="checkbox"/> D: 漆パネル「木漏日」
	<input type="checkbox"/> E: 棗「花の図」	<input type="checkbox"/> F: 二枚屏風「花無心」興禅寺蔵
	<input type="checkbox"/> G: 沈金の道具	<input type="checkbox"/> H: 制作風景
読者プレゼント	希望する (招待券 or 図録) /	希望しない

【ご掲載にあたってのお願い】

- ・画像をご使用の際は必ずご案内のクレジットをご表記いただき、申請の目的以外にご使用なさないでください。
- ・掲載記事・番組内容について情報確認のためにゲラ刷り、原稿の段階で下記事務局まで FAX 送信ください。
- ・お手数ですが、掲載紙・誌、または録画媒体等を下記広報事務局あてに 1 部ご寄贈願います。

報道関係お問い合わせ先 / 公益財団法人竹中大工道具館

〒651-0056 神戸市中央区熊内町 7-5-1

受付時間 9:30 ~ 17:00(月曜日を除く)

電話番号: 078-242-0216 ファックス: 078-241-4713

竹中大工道具館ウェブサイト : <http://dougukan.jp>